

ユニットⅢ 環境保健医学実習（環境保健医学講座）

【1】教育目標

1. 地域において医学・医療に関わる環境と健康について理解する。
2. 地域における災害保健の課題や、島根原子力発電所の安全対策を理解する。

【2】実習日程（期間：3年後期～4年前期）

回	年 月 日 (曜日)	時 間	内 容	場 所
第1回	令和2年12月21日(月)	12:50-15:00	実習説明、グループ メンバー発表、テー マ決めGW	対面授業 (P3,L3,L2)
第2回	令和2年12月22日(火)	9:40-11:50	自己学習	
第3回	令和3年2月22日(月)	13:00-17:30	学外実習①: 1班	島根原発
第4回	令和3年3月10日(水)	8:00-12:30 13:00-17:30	学外実習②: 2班 学外実習③: 3班	島根原発
第5回	令和3年3月11日(木)	8:00-12:30 13:00-17:30	学外実習④: 4班 学外実習⑤: 5班	島根原発
第6回	令和3年6月7日(月)	12:50-17:20	実習報告会	対面 or ハイブリッド

第1回 対面授業：実習概要の説明と実習グループのメンバーを発表する。

各グループで、教育目標に基づき実習のテーマを決める（複数決めておく）

当日は、実習班の名簿で自分が何班かを確認し、下記教室に集合する。

L2：1班

L3：2班、3班

P3：4班、5班（各教室から Webex に接続する）

第2回 ハイブリッド授業：グループリーダーは指定の講義室に集まり、それぞれグループで決めたテーマを挙げ、他のグループと重ならないように調整し最終決定する。

第3回～第5回 島根原子力発電所の見学（後日詳細は提示する）

【備考】

- ・学外実習で島根原発に見学に行くグループ以外は、原則自己学習とする。
- ・新型コロナウイルスの感染症の流行によって、島根原子力発電所の見学が中止になる可能性がある。

【3】実習の心得

- ・単なる見学にとどまることなく、可能な限り現場を体験すること。インタビューや質問も積極的に行うこと。
- ・具体的な実習の内容や日程は、担当教員の指導を受けながら行う。
- ・学外訪問の際は、時間管理・服装・言葉遣い・態度など、医学生・成人として失礼のない姿勢で臨むこと。
- ・実習先ではマスクの着用し、施設内の感染予防対策に従うこと。
- ・実習に備え体調管理を万全にするが、万が一、発熱、体調不良等ある場合は、大学の規定に従い速やかに講座へ連絡すること。

【4】実習グループと引率教員

- 学外実習① 1班 名越 究先生
- 学外実習② 2班 谷口かおり先生
- 学外実習③ 3班 谷口かおり先生
- 学外実習④ 4班 佐藤利栄先生
- 学外実習⑤ 5班 佐藤利栄先生

【5】成績評価の方法

1. 実習態度及び実習報告書による。
2. 実習グループのまとまり、グループの共通理解の程度も評価の対象とする。
(同じ実習班なのに、分業して他のメンバーの実習内容が分からないような状況は避けること。)
3. 実習であるため原則欠席は認めない。体調不良や忌引等やむを得ない理由で欠席となる場合は、大学規定に従い欠席届を講座に提出する。それ以外は、1日でも欠席した場合は、進級判定の対象となる。
4. 島根原発見学時や報告会等での積極的な発言は評価の対象となる。